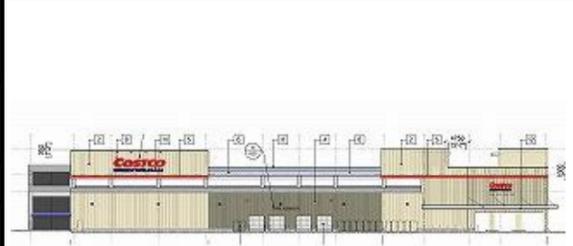


# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(第2版)2016年版、名古屋市長官庁建築環境配慮制度適用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コストコホールセール守山倉庫店	階数	地上 2F
建設地	守山区大字中志段味字東海通730番1、他180筆	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	6,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2019年11月18日
敷地面積	34,628 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	16,374 m <sup>2</sup>	確認日	2019年11月22日
延床面積	31,814 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

#### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギーに努め、地球温暖化防止に配慮している。安全に配慮しながら、全体から細部にわたり汎用品を採用し無駄のない設計をしている。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	断熱性能の高い外壁材の使用、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。室内汚染対策を施した材料を採用し、安全性を確保している。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	LED照明の採用により、省エネルギーを図っている。エネルギー使用量の把握に努めている。	Q3 室外環境(敷地内)
		敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。建物高さ・壁面位置等の形状や色彩に配慮して、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。
		LR3 敷地外環境
		ライフサイクルCO2を削減し、地球温暖化防止を図っている。駐車・駐輪場を確保し、周辺の交通渋滞緩和に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)コストコホールセール守山倉庫店

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v1.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.5
LR1	エネルギー	3.5	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.9	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				1.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.103606996	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.0103607	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.051803498	
3. 循環型社会				3.3
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

### 結果

#### 1. 温暖化対策

評価点 = 3.5



#### 2. 自然共生

評価点 = 1.9



#### 3. 循環型社会

評価点 = 3.3



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。